

私のおすすめスポット

会員 榎本麻美子（長岡市在住）

今年の4月から事務局員としてお世話になっております榎本麻美子です。会員の皆様、よろしくお願いいたします。

「私のおすすめスポット」は長岡市の市街地に位置する水道公園です。映画のロケ地やプロモーションビデオの撮影地にも利用された公園内には水道タンクとポンプ室棟、予備発電機室棟、監視室棟があり、水道タンクは長岡のシンボルとして市民に親しまれています。水道タンクは長岡市の上下水道の敷設に伴って大正15年に完成したもので、配水棟として使用されていました。その後、昭和59年から洗浄用高架水槽として使用されていましたが、平成5年に中島浄水場を休止したことにより、その役目を終えました。平成10年に水道タンク、平成25年にはポンプ室棟、予備発電機室棟、監視室棟が国の登録有形文化財に登録され、歴史的にも貴重な建物なので一見の価値あります。

公園の敷地内には木製遊具や、土手の上から信濃川が見渡せる展望テラスなどの施設があり、地域の憩いの場となっています。

私が訪れた時には、運よくポンプ室棟の中を見学することができました。重厚感のある石造りの建物の内部には、使用されていた当時の写真や映画の撮影風景写真などが展示されていました。歴史を感じると共に、今もなお地域の方々に愛され大切に守られていることを改めて知りました。

夜になるとライトアップされる水道タンクは遠くにみる姿も綺麗ですが、近くで見る姿は一段と綺麗です。赤いトンガリ屋根のレトロな建物を目印に、立ち寄ってみてはいかがでしょうか♪



水道公園



ポンプ室棟

大盛況の「お茶を楽しむ会」

4月19日（日）10:00～

参加者：500名

晴天に恵まれ、桜吹雪のなか行われた今年のおいらん道中。お茶を楽しむ会には、毎年楽しみにしてくださっているお客様も多く、開始早々からたくさんの方で賑わいました。綺麗な景色とおいしいお抹茶はもちろんですが、スタッフのみなさんの笑顔のおもてなしに、お客様も喜んでくださいました。



宮本武之輔交流事業 ～松山・興居島に行ってきました～

4月14日（火）、15日（水）参加者：13名

宮本武之輔交流事業実行委員会（松山市、宮本武之輔を偲び顕彰する会）からお招きをいただき、松山市で開催された交流事業に参加しました。郷土の偉人を誇りに思い、これからも語り伝えていこうという、松山市や興居島の皆さんの熱い気持ちに大変感銘を受けた旅でした。

- 4/14（火）・松山市役所で式典参加
 - ・映画「民衆のために生きた土木技術者たち」鑑賞（宮本武之輔の大河津での活躍を紹介）
 - ・高橋裕先生（東京大学名誉教授）講演会
 - ・パネルディスカッション（樋口理事登壇）
 - ・ヤクルト-広島戦観戦（坊ちゃんスタジアム）
- 4/15（水）・興居島で宮本武之輔生誕地碑除幕式典参加
 - ・坂の上の雲ミュージアム見学



生誕の地、興居島へ



生誕地碑（右端）の前にて（中央高橋裕先生）

宮本武之輔と共に信濃川補修工事に携わった男たち

大河津資料館を出て堤防沿いに100m程も歩くと、「萬象に天意を、...」の碑文で知られている「信濃川補修工事完成の碑」がある。このがっしりした碑から20mも足を戻すと、「補修工事従業員一同碑」という、これはもうジャガイモを少し押しつぶしたような形の石碑がある。こちらの方は小さな名盤が張り付けてあるが、そのほかには何も書いたものはなく、いかにも素気の無い石の塊である。それだけに、この補修工事を成し遂げた従業員は確かにいたぞと言っているような印象をうけるのである。

一体この補修工事を成し遂げた信濃川補修工事事務所にはどのような人たちが何人いたのであろうか。補修工事は、昭和2年の自在堰の陥没を受けて、昭和6年まで可動堰建設を中心とした復旧工事であり、その結果、大河津分水は平成年度の洗堰、可動堰の改築までの80余年、大きなトラブルもなく運用されたのである。そしてその成果は宮本武之輔の成果として語られることが多い。確かにそうであろう、しかし、宮本と一緒にどのような人達がいたのかを少し見てみたい。

まず補修工事事務所働いた人たちの集合写真が1枚ある。きれいに4段に並んで写っている人たちの最下段の真ん中には宮本、青山の2名が見える。その二人を除けばこの写真に写っているのは65名である。すなわち宮本を含めて補修工事事務所には64名がいたと考えていいのだろうか。

実際にはもっと詳しく働いた人の氏名、職名まで残されている。それを見ると主任技師とされるのは宮本武之輔、伊藤憲一、大塩政治郎の3名である。この3名は大学卒であることが分かっており、補修工事の設計はこの3人を中心に行われたようである。

補修工事事務所全体は現在の資料館のあたりにあった事務所のほか、各所にあった工場よりなり、従業員は表の様に配置されていた。

	主任技師	技手	工手	書記
事務所	2	4	5	7
五千石工場	1	2	5	2
熊ノ森工場		2	5	
野積工場		1	2	1
大川津工場		2	3	2
渡部工場		2	6	
五千石機械工場		1	4	

これを集計すると合計59名となり、その中で事務職とみられる書記は12名である。

これだけの陣容で可動堰と固定堰、また付帯的な河川工事を直轄工事として行ったのである。ただし、人夫を提供する人は沢山いて、土地の人をはじめ、遠隔の地からもやって来た人たちも含め、多数働いていたようである。

この補修工事事務所の体制を現代の建設工事事務所と比べるとは難しい。時代が違うので、その理由はいろいろある、今では直轄工事というものが殆ど無いという違いは大きい。それでも50人以上の技術屋を

集めたということは直轄工事なればこそ、現代でも一工事にこれだけ揃えるのは難しいのではないかと。また、補修工事で特記すべきは工期が4年間で済んだことである。それだけ一生懸命に全員が働いたのには違いない。

この小文を閉じる為にもう一度従業員一同碑を訪れた。その碑は、伸びきった雑草に埋もれるように蹲り、昼下りの陽の光に照らされていた。一体こんな碑が世の中にあるだろうか。従業員60余名の名前はどこにもない。ただ黙って座っているこの石の塊は。しかしだからこそ、その60余名の思いを結集してこの石塊に託したのだと、胸を打たれる思いがする。そうだ、このただの石塊に過ぎない石碑は、従業員60余名の補修工事完成の喜びをもっとも的確に表しているのだ。やっぱりこれは、自分を語らず、未来を見据えている石碑なのだ。

それは現在ほぼ全員の名前が分かっている。

総会特別講演「信濃川河川改修事業(大河津分水路)について」開催

5月16日(土)、信濃川河川事務所長福渡隆様を講師に迎えて、総会講演会が開催されました。平成26年4月の調査着手式以降に行った調査や地元への説明内容など、これまで知ることの出来なかった情報がふんだんに盛り込まれた講演は、いよいよだなど感じさせる大変興味深いものとなりました。総事業費1,200億円の大事業は平成44年度の完成を目指して今年度から始まります。地域のみなさんの協力の元、事業が円滑に進むよう私たちも微力を尽くしたいと思います。



福渡信濃川河川事務所長による講演

講演資料より転載

事業の概要(事業内容)

- 主要な工程は左岸側を拡幅するための山地掘削工、新第二床固の設置、野積橋架替工、護岸工
- 山地部の河道拡幅は現況の川幅約180mを約280mに拡幅
- 新第二床固工の左右岸に魚道を設置

横断面図(大河津分水路7.4km)

※ 新野積橋の架け替えの詳細については、新潟県と協議中。
 ※ 各施設の構造等については、新規事業採択時評価時に想定したものであり、今後変更となる場合があります。

平成 27 年度 年次総会報告

5月16日(土)大河津出張所に於いて、平成27年度年次総会が開催されました。5月12日現在の正会員、個人164名、団体29社、計193名・社に対し、出席63名・社、委任状112名・社と、定足数(正会員の過半数)に達していることを確認した後、目黒信雄会員を議長に選出し、議事が進められました。主な議題は次の通りです。

- ①平成26年度事業報告、決算報告(承認)
- ②平成27年度事業計画案、予算案(承認)
- ③役員改選

平成27年度役員には、新たに3名の理事が選出され、その後の理事会で部会を含む新体制が決定しました。新体制の元、総予算1,611万円の新年度事業がスタートしました。会員及び地域のみなさまとともに実りある一年にしたいと思っております。事業への参加、協力をよろしくお願いいたします。

平成 27・28 年度役員

理事長	早川典生(再任)
副理事長	小林清(再任)
理事	濱田達郎(再任)
理事	畠山卓也(再任)
理事	解良節子(再任)
理事	池田富春(再任)
理事	白倉與志司(再任)
理事	田中隆夫(再任)
理事	丸山晃平(再任)
理事	笠柳シズ(再任)
理事	若月夏子(再任)
理事	横山正二(再任)
理事	山田薫(再任)
理事	樋口勲(再任)
理事	橋本誠一(再任)
理事	目黒信雄(再任)
理事	小黒憲雄(再任)
理事	氏田公基(再任)
理事	村上謹一(新任)
理事	野原永吉(新任)
理事	清水保(新任)
監事	吉田茂(再任)
監事	小林恒男(再任)

平成 27 年度事業計画

区分	名称	日時	会場
講演会 講座	総会講演会	5/16(土)	大河津出張所
	大河津分水講演会2015	10/6(火)	長岡市
	宮本武之輔交流事業	4/14(火)、15(水)	大河津資料館
	お茶を楽しむ会	4/19(日)	大河津資料館
	河川文化講演会①	7/11(土)	大河津資料館
	特別講座(パナマ運河と青山士)	7/4(土)	大河津資料館
	県内バスツアー	8月	県内
	信濃川現場見学会	9月	資料館・現地
	第4回新潟県博物館等友の会サミット	10月	大河津資料館
	サケまつり	10月	大河津資料館
	信濃川教養講座	10月	大河津資料館
	県外バスツアー (大河津分水水理模型実験施設)	11月	茨城県つくば市
	河川文化講演会②	3月	大河津資料館
	会報	たより第39~42号	春、夏、秋、冬
年次報告	あゆみ	3月	
ガイド	ガイド研修	4/4(土)、6/20(土)、11月	大河津資料館
	ガイド実践	開館日	大河津資料館
奉仕活動	花壇整備	5月、11月	大河津資料館
	庭木剪定	6/20(土)、11月	大河津資料館
	クリーン作戦	6/20(土)	大河津資料館
受託業務	大河津資料館管理補助委託	開館日	大河津資料館
その他	無料レンタサイクル(3台)	通年	大河津資料館

(開催日は総会後に決定したものを含まず)

事業部体制

部長 濱田達郎
 副部長 畠山卓也・樋口勲
 部員 解良節子・山田薫
 池田富春・笠柳シズ
 若月夏子・目黒信雄
 清水保

支援部体制

部長 白倉與志司
 副部長 横山正二
 部員 田中隆夫・小黒憲雄
 橋本誠一・村上謹一

広報部体制

部長 早川典生
 副部長 丸山晃平・五十嵐晃
 部員 氏田公基・斉藤麗
 野原永吉・斉藤久美
 榎本麻美子



イベント案内

第2回ガイド研修を行います!

大河津資料館管理補助業務ガイド研修を行います。今回はトミオカホワイト美術館に20年間勤務されていた高石真理子さんをお迎えして講演会「美術館・資料館見てある記」を開催します。その後、分水消防署の指導による避難・消火訓練を実施します。業務担当者の参加をお願いします。業務担当者以外の方もぜひご参加下さい。(事務局)

日時:平成27年6月20日(土) 8:30~12:00

場所:大河津資料館 2F 多目的ホール ※参加希望者は事務局までお申込み下さい。



信濃川クリーン作戦にご参加下さい

一昨年加盟した「信濃川をきれいにする会」活動の一環として、大河津資料館周辺のクリーン作戦を行います。来訪者に気持ちよく過ごしていただけるよう、大勢の参加をお願いします。(支援部)

日時:平成27年6月20日(土)

13:00~14:00

集合:大河津資料館

道具等:トング、手袋、レジ袋等を
持参下さい。

※参加希望者は事務局までご連絡下さい。



庭木剪定にご協力下さい!

信濃川クリーン作戦の後、資料館周辺の庭木剪定を行います。剪定クズを集めていただける方大歓迎です。手持ちの道具を持参して下さい。(支援部)

日時:平成27年6月20日(土)

14:00~15:00

場所:大河津資料館敷地内

※参加希望者は事務局まで
ご連絡下さい。



お知らせ

友の会事務局
電話番号を新
設しました!

電話番号

080

-3876

-3683

お問い合わせ
等は、こちらの
番号にお願い
いたします。

※休館日、
17:15以降は
電話に出られ
ませんのでご
了承下さい。
(事務局)

河川文化講演会 開催

「地震津波災害を考える」/「川の災いと恵み」

防災について、今一度考えてみませんか？新潟大学 防災・復興科学研究所准教授のト部厚志さんと友の会の樋口理事を講師に、防災についての講演会を開催します。この機会にぜひ、防災意識を高め、いざという時に備えましょう！（事業部）

日時：平成 27 年 7 月 11 日（土）9：00～12：00

場所：大河津資料館 2F 多目的ホール

※参加希望者は事務局までお申し込みください。

特別講座「パナマ運河と青山士」

荒川知水資料館でボランティア講座の講師をされている清水弘幸さんをお招きして、パナマ運河の工事の話や青山士の活躍、現在進められている拡張工事などについて、お話しいただきます。多数の参加をお待ちしています。（事務局）

日時：平成 27 年 7 月 4 日（土）14:00～16:00

※お茶を飲みながら懇談会をします。16:00～17:00

場所：大河津資料館 2F 多目的ホール

※参加希望者は事務局までお申し込みください。



団体会員
ご紹介

我ら大河津分水応援隊！



建設環境研究所ってどんな会社？

株式会社建設環境研究所

信濃川大河津資料館友の会の皆様、今年度から新会員となった(株)建設環境研究所です。弊社につきまして、紙面をお借りしてPRをさせていただきます。

◆創業について

創業は、昭和 58 年、創業者の 5 人が神田須田町の地下の居酒屋で集い「明るく、楽しく、自己実現」できる会社にしようと合意し会社を立ち上げました。まだ 32 歳の会社です。

◆ゲリラから正規軍へ

会長いわく、「5 人のゲリラから始まった私たちであるが、30 年を過ぎると同業から、さらに銀行からみれば、正規軍に見えるらしい。しかし、内部の私たちにすればまだまだゲリラ的な面が多い。」とのこと。社員 270 名奮闘中です。

◆環境に強い総合コンサルタントへ

創業当初は、河川、ダム、動植物の環境分野を中心に業務を進めてきましたが、現在は、環境以外の河川、砂防、ダム及び道路の計画・設計の業務、さらに異常気象の影響が大きい砂防の土砂動態関連業務を実施しています。また、リニア新幹線、風力発電業務にも進出しています。キャッチフレーズは、「環境に強い総合コンサルタント」。環境分野と建設分野の視点の両面を兼ね備えたコンサルタントを目指しています。

◆大河津分水路事業との関わり

大河津分水路関連の環境調査を中心に携わらせて頂いております。平成 26 年度着手の大河津分水路抜本改修に向けた調査においても、大河津分水路周辺の環境調査に携わらせて頂いております。大河津分水路改修事業の整備メニュー（第二床固改築、山地部掘削等）の環境影響・保全措置検討等の精度向上に資するべく業務に励んでおります。

大河津分水路の大改修

皆さんこんにちは。私どもは信濃川流域を中心に測量や各種計測等を行っており、大河津分水路全体の基準点測量や地形測量、川の深さを測る深浅測量など、地域の安全安心に貢献できればとの想いで「大河津分水を測る」ことをお手伝いさせていただいております。

中でも平成 26 年度に行った大河津分水路山地部から河口部の測量は、このたび事業着手された大河津分水路改修の基本図面を作成するもので、3D スキャナー計測と実測との併用により迅速かつ安全な作業の遂行に努め、身の引き締まる思いで鋭意従事させていただきました。しかしながら、かなり急峻な斜面であり、また、新潟特有の蒸し暑さ、大河津分水路特有の強風、GPS 電波の弱さ等に悩まされ、心が折れそうになりましたが、信濃川河川事務所の皆様からの激励、協力会社の支援、そして何より地域の皆様のご協力のおかげで無事測量を終えることができました。大河津分水は越後平野の守り神です。

これからも微力ながら、その機能の維持に貢献し、私たちの暮らす故郷の発展に寄与できれば幸いです。

株式会社テクノス



事業着手となった
分水路河口



夕陽に照らされる
分水路河口

≪編集後記≫

初めて『たより』の編集に携わりました。慣れない作業に戸惑いながらも何とか無事(?) 終わることができました。まだまだ至らないところがあるかと思いますが、会員の皆様にもっと楽しんでいただけるような、新しい紙面作りに取り組んでいきます。

ぜひご意見、ご感想をお願いします。(E) 掲示板もリニューアル



<事務局連絡先>

〒959-0123
燕市大川津 1215-7
TEL 090-2673-6596(事務局長)
080-9876-3683(事務局)
FAX 0256-97-3682
e-mail:ohkouzu_tomonokai@yahoo.co.jp
https://www.facebook.com/ohkouzuTOMO/

小林副理事長が植えて下さったマリゴールド

